

編集後記

本年も鳥取赤十字病院医学雑誌が無事に刊行されました。論文を投稿頂いた皆様、査読や編集に携わった皆様に感謝申し上げます。

適格な査読をしてもらうと、自分の論文が見違えるように良くなるのが実感できます。私の経験ではimpact factorが10点以上あるような一流雑誌では、査読者（reviewer）のコメントは好意的なのに、担当編集者（editor）は容赦なく落としてきます。それでもそのコメントを参考に校正出来るところは校正し他の雑誌に投稿することができます。それなりの雑誌ではreviewerのコメントは厳しくてもeditorはむやみにリジェクトにはしません。いわゆる需要と供給の関係です。

海外では前もってreviewerになりそうな研究者に根回しをすることは常識です（最近では国内でも）。また、論文が落とされたら、直接editorに電話をかけ再交渉することもあります。人間関係が大切というか、コネクションが重要というか、結局良くも悪くもお互い持ちつ持たれつという関係であることは否めません。

若い頃から学会発表した研究は必ず論文にしろと教えられてきました。自然科学の分野において論文を書く目的は、科学的新事実を社会に周知・還元することですが、その作業過程は論理的な思考を養う上で重要であり、臨床の現場でも必ず役立つと思います。来年も皆さんの投稿をお待ちしています。

荻野 和秀

編集委員

竹内 薫	荻野 和秀	山口 由美
山根 哲実	麻木 俊宏	岸 隆広
三村 憲一	安田 益恵	金本 祥志
山村 章次	土井 栄	澤 真由美
山本 聡美	磯見 正美	濱江 昌子

鳥取赤十字病院医学雑誌（vol. 27）

2018年12月10日 印刷
2018年12月14日 発行

編集 鳥取赤十字病院
医学雑誌編集委員会
〒680-8517 鳥取市尚徳町117
☎ 0857-24-8111

発行 西土井英昭

印刷所 今井印刷株式会社
〒683-0103 米子市富益町8
☎ 0859-28-5551